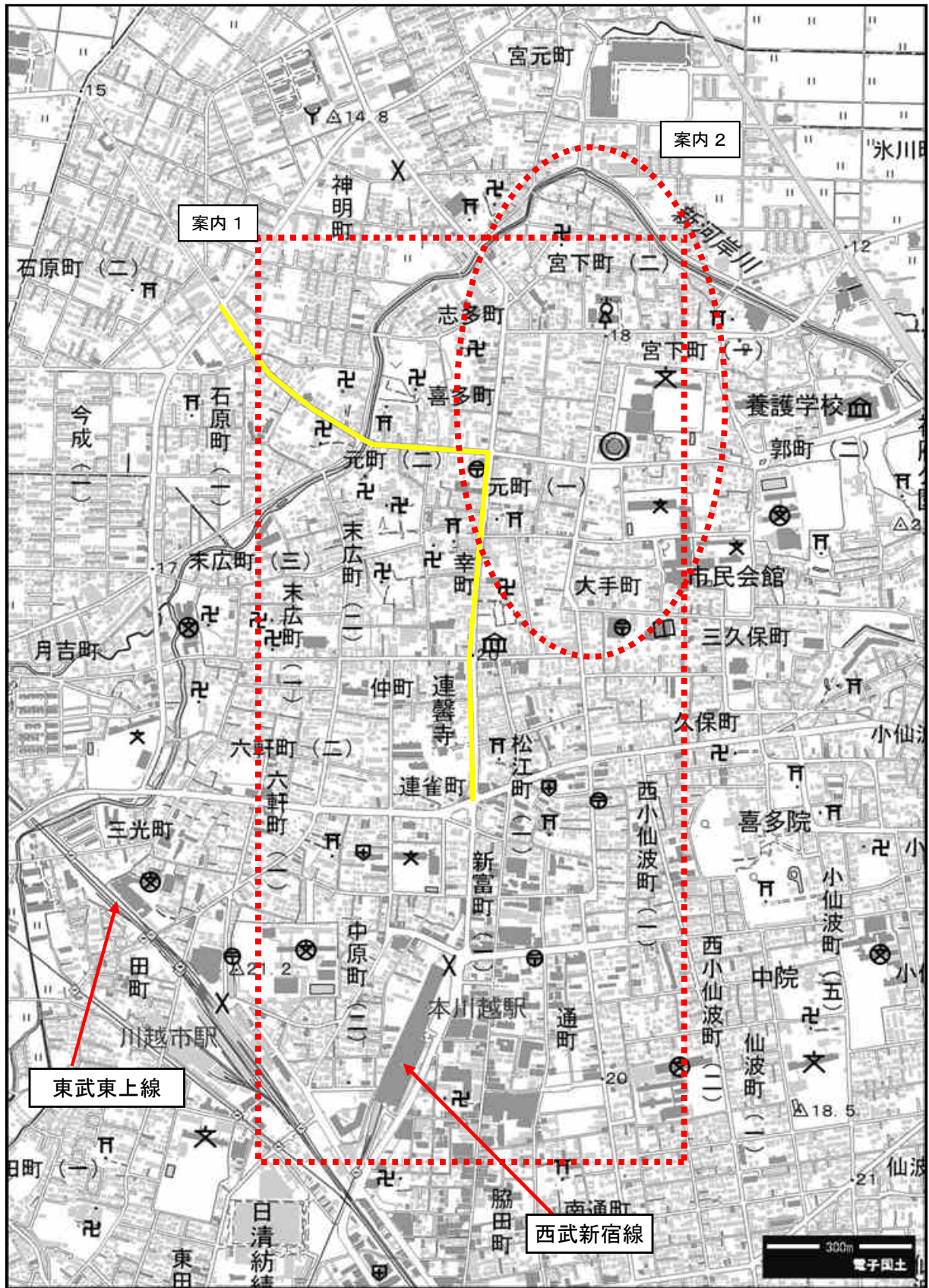
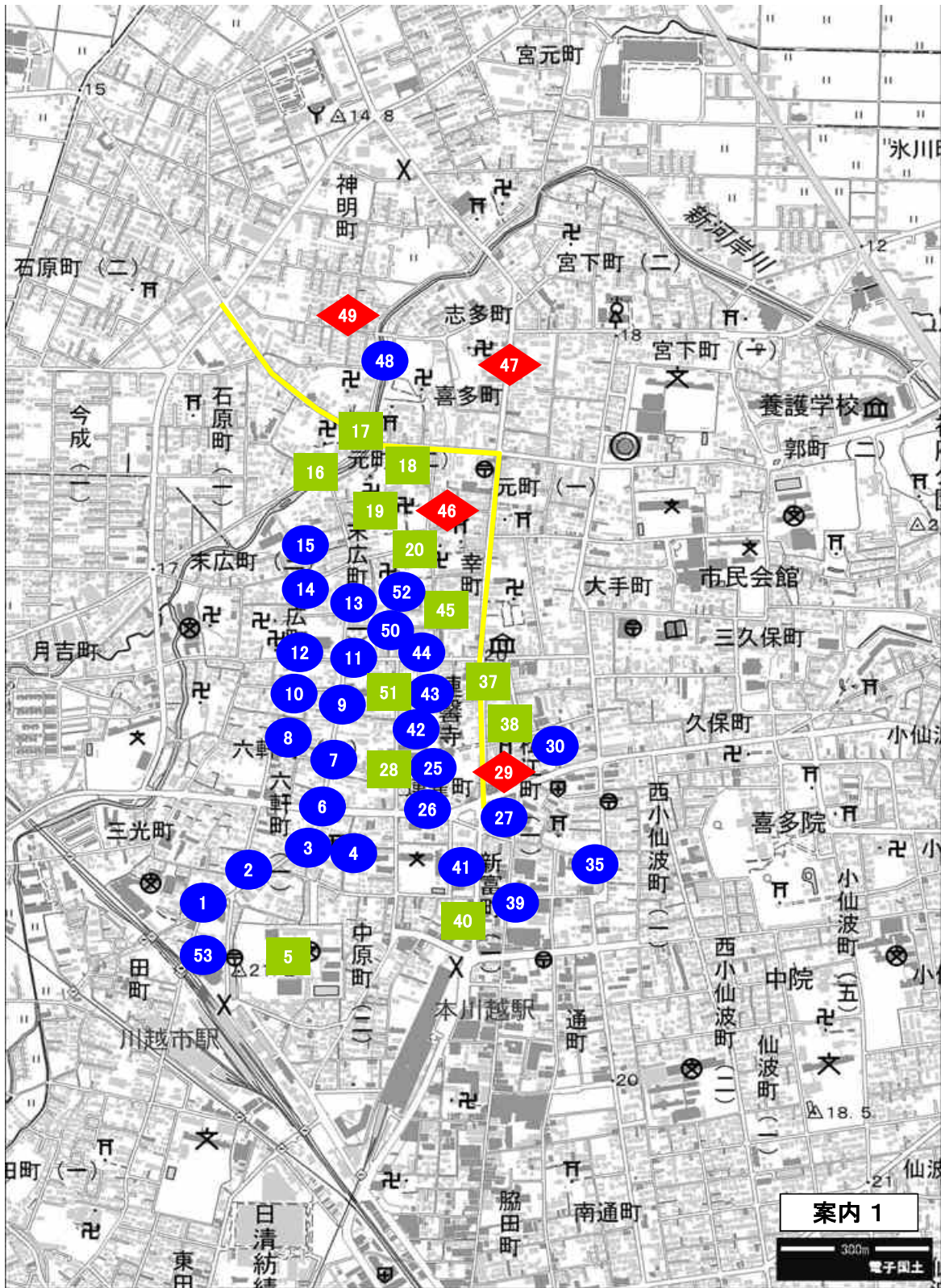


川越



川越



凡例

◆ 史跡・寺社等

● その他の建造物

■ 通り・広場・樹木他

川越



凡例

史跡・寺社等

その他の建造物

通り・広場・樹木他

川越



城下町として栄え、古くから小江戸と称された。蔵造りの町並みや明治・大正・昭和といった各時代の特徴を表す歴史的建造物が数多く残る都市として、多くの観光客が訪れている。

また、川越駅・本川越駅・川越市駅の3駅を中心に栄える商業施設や、農業、工業共にバランスよく発展している中核市でもある。

(写真は一番街の中央付近)

| | | | |
|--|---------------------------------|--|------------|
| 1 | 店舗 | 3 | 医院 |
| | | | |
| <p>材木屋。 出桁作りの古民家は、堂々とした造りで民家裏には黒塗りの蔵もある。</p> | <p>蔵を改修して店舗(事務所)として活用されている。</p> | <p>平成5(1995)建築。 鉄筋コンクリートの建物で、2001年3月まで「白鳩幼稚園」だった。今でも幼稚園のシンボルマークが建物に残されている。</p> | |
| 4 | カトリック川越教会 | 5 | 川越女子高前の桜並木 |
| | | | |
| <p>平成4年(1992)建築。 建物上部に見えるのは鐘楼で、この教会のシンボルとなってる。</p> | <p>学校前のアプローチには立派な幹の桜が並んでいる。</p> | <p>六軒町交差点にある建物。 川越の景観を一層盛りあげてくれそう。</p> | |

| | | | |
|---|---|--|----|
| 7 | 店舗 | 8 | 店舗 |
|  |  |  | |
| <p>京染の着物屋。 出桁造りの古民家を上手く改修しており、店舗前にある藍色の「のれん」が建物を一層、落ち着いた感のある物に感じさせている。</p> | <p>伝統的な町屋。 堂々とした造りで、川越の景観を支えている。</p> | | |
| 10 | 住宅 | 12 | 住宅 |
|  |  |  | |
| <p>土壁の古民家 奥には蔵も残されていた。</p> | | <p>古い町屋が並んでいる。 城下町の名残だろうか…観光地から少し外れた場所でも、このような立派な町屋が多数見られる。</p> | |
| 13 | 店舗 | 14 | 住宅 |
|  |  |  | |
| <p>魚屋さん。 大きな青い看板が目印。</p> | <p>落ち着いた雰囲気の外装。</p> | <p>日本を意識させる、味のある門。 奥には、この門に似合った大きな民家があった。</p> | |

| | | | | | |
|---|---------------|---|------|--|-------|
| 16 | 石原橋からの景色 | 17 | 樹木 | 18 | 菓子屋横丁 |
|  | |  | |  | |
| <p>下を流れているのは「赤間川」である。河川敷には、歩道が整備されており、散策が可能だ。</p> | | <p>大きな杉の木で、見立寺の中にある。隣にある民家を軽く超える巨木。</p> | | <p>ガラスが散りばめられた石畳の道に、22軒の菓子屋・駄菓子屋がひしめく。素朴で昔懐かしい味を今に伝える菓子作りの店が立ち並んでいる。</p> | |
| 19 | 発砲スチロールの立体アート | 20 | 寺町通り | 21 | 稲荷小路 |
|  | |  | |  | |
| <p>アーティスト「ヤジマ ミキオ」さんの作品。全て発砲スチロールで出来た作品は川越のいたる所で見られる。ちなみに、この「パンダ」の前には、「パン屋」がある。</p> | | <p>菓子屋横町を抜けると、この路地に出られる。広々とした石畳の路地は歩きやすく歩行者にやさしい造りとなっている。</p> | | <p>奥へ進むほど細くなっており脇には老舗料亭や、蕎麦屋などがある。川越散策の意欲を掻き立ててくれる小路である。</p> | |
| 22 | 店舗 | 23 | 銭湯 | 24 | 一番街 |
|  | |  | |  | |
| <p>昭和7年建築。木造3階建ての外観は銅板貼りで、まさに看板建築の代表ともいえる建物。国指定登録有形文化財であり、川越都市景観デザイン賞も受賞している。</p> | | <p>昭和時代の銭湯。煙突がある銭湯は川越ではここだけ。周りに高い建物が無い為か、大きな高窓がある珍しい銭湯。</p> | | <p>まるでタイムスリップしてしまったかの様な感覚になる、蔵造の趣豊かな建物が建ち並ぶ町並み。電線を地下に埋めた事によって、歴史的景観の雰囲気を一層感じさせる。</p> | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 25 | 病院 | 26 | 川越市勤労会館 | 27 | 病院 |
|  |  |  | | | |
| 昭和10年建築。 道路側に建つ小屋は人力車をおいた車小屋で、患者さんを運ぶのに利用していたのだろう。 | 窓枠は交換されているようだが、当時の原型をほぼ残している洋館風の建物。屋根には日本瓦を使用している。 | 青い瓦屋根が特徴的な建物。 | | | |
| 28 | 中央通り | 29 | 熊野神社 | 30 | 連雀町自治会館 |
|  |  |  | | | |
| 本川越駅から「蔵造りの町」へ続くメイン道路。 | 毎年12月3日に酉の市が開催される事で有名である。 参道には平成16年に造られた「熊野神社足ふみ健康ロード」がある。 | 熊野神社境内にある建物。 元は別の場所にあった物を移築した。中には豪華な襖絵もある。 (現地ヒアリング) | | | |
| 31 | 時の鐘 | 32 | 大手町2番町の町並み | 33 | 広場 |
|  |  |  |  | | |
| 蔵造りの町並みに建てられている、まさに時計台。今でも1日4回時を知らせている。 現在の物は明治26年に起きた川越大火の翌年に再建された物である。 | 明治～大正初期の物と思われる建物が並ぶ。 左手に見える袖蔵は、明治5年頃に建てられたものと言われ、川越大火にも焼け残る事が出来た貴重な蔵。 | 道路が交差する三角地帯に造られた広場。 花壇にはパンジーが植えられ、通る人の心を和ませる。 | | | |

| | | |
|--|---|---|
| <p>34 住宅</p> | <p>35 蔵</p> | <p>36 店舗</p> |
|  |  |  |
| <p>伝統的な町屋の隣には袖蔵がある。</p> | <p>黒塗りの蔵造りの民家。 道路に面した観音開きの窓は堂々としており、風格を漂わせる。 奥にはもう1棟、蔵が見えた。</p> | <p>店舗は明治26年の川越大火後に新築された物。隣接している煉瓦のアーチ門や塀は、明治の頃のモダンで洒落た雰囲気漂わせている。奥には嘉永3年(1850年)建築の白塗りの大蔵がある。</p> |
| <p>37 大正浪漫通り</p> | <p>38 出世稲荷神社の大イチョウ</p> | <p>39 小江戸蔵里</p> |
|  |  |  |
| <p>川越らしい町屋造りや洋風看板建築が軒を連ねるレトロな町並みが、歩く人々を楽しませている。 ここも、電線を地中化しており解放的な雰囲気を感じさせる。</p> | <p>川越市の天然記念物に指定されている、2本の大イチョウは、出世稲荷神社の境内にある。 どちらも樹齢600年余とされており、秋には綺麗に紅葉する。</p> | <p>明治8年(1875年)に創業した旧鏡山酒造の建築物を改修し、平成22年誕生した施設。おみやげ処(明治蔵)、まかない処(大正蔵)、くら市場(昭和蔵)の3つの蔵からなっている。</p> |
| <p>40 クレアモール</p> | | <p>42 街灯</p> |
|  |  |  |
| <p>川越駅前から大正浪漫通りへと続く商店街。 古くからある商店もあれば、フランチャイズの店もある約1キロの賑やかな通りである。</p> | | <p>大正浪漫通りの街路灯。 大正浪漫という町造りのコンセプトに合わせてデザインされたもの。 夜になると、その明かりで町を照らす名脇役だ。</p> |

| | | | | | |
|---|-----|--|----------|---|-----------|
| 43 | 店舗 | 44 | 店舗 | 45 | 長屋のある路地 |
|  | |  | | | |
| <p>大正13～14年頃建築。 市内では数少ない木造3階建。 上の階にいよいよ道路より後退する 屋根と壁面が特徴的。</p> | | <p>伝統的な町並みの中に、まったく雰囲気 の違う現代的なコンクリートの建物。 現在を生きる町並づくりをしているとい う川越の姿勢が見られる。また川越市 都市景観デザイン賞も受賞している。</p> | | <p>まっすぐでは無い路地の脇には、古民 家が路地に沿って立ち並ぶ。 「ロートレック」の看板が目を引き、思わ ず散策したくなってしまう裏路地だ。</p> | |
| 46 | 東明寺 | 47 | 広濟寺 | 48 | 道灌(どうかん)橋 |
|  | |  | | | |
| <p>川越城代の大導寺駿河守政繁が天文 17年(1548年)に菩提寺として建立し た。</p> | | <p>境内の中には大きなイチョウの木が あり、その近くには「川越夜戦跡」の 石碑が建っている。</p> | | <p>灯笼をイメージした、橋の欄干が特徴 的。下を流れるのは新河岸川だ。 橋名は「太田道灌」に由来する物で、 テラス状の張り出し部分には道灌の 和歌が刻まれている。</p> | |
| 49 | 神明宮 | 51 | 大正 浪漫な路地 | 52 | 旧山吉デパート |
|  | |  | | | |
| <p>神明町の東明寺橋交差点にある神社。 鳥居の柱には享保十二年(1728年)と刻 まれていた。 狛犬が可愛い顔をしている。</p> | | <p>洋風店舗が並ぶ路地。 1階部分に店舗が入れるようになって いる。</p> | | <p>昭和11年建築の鉄筋コンクリート造3階 建て。中段壁面には、堂々としたレリーフ があり、窓にはステンドグラスがはまっ ている。2007年に改修し現在の物とな る。彩の国景観賞2009受賞。</p> | |